

G

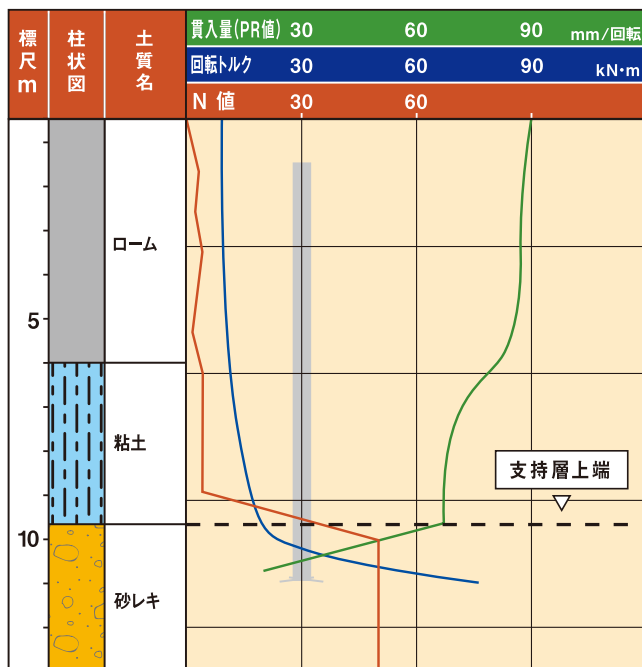
”支える技術” ジー・エクス・パイルの三誠がお届けするインフォメーション・ペーパー。

G-ECS NEWS

編集・発行人／高橋 進 発行所／株式会社 三誠 ジー・エクス・パイル事務局 本社〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町203箱崎公園ビル
TEL：03-3639-5226 FAX：03-3639-8162 ホームページ <http://www.sansei-inc.co.jp>

2009 Nov Vol.9

計測データのイメージ図

構造 S造4階 杭の種類 φ190.7 t=7.0 10m 2セット
φ267.4 t=9.3+12.7 9m 21セットよりレベルの高い施工管理を
実現する体制が整いました。三誠の
挑戦今だからこそ原点に戻り、品質向上と安全確保で、
お客様満足度の向上を目指します。

(株)三誠では、G-ECSパイルの施工時に計測される回転トルクや、一回転あたりの貫入量をN値と共にグラフ化し、このデータを監理技術者の皆様にご提示できるようにしました。これまでは出力した数字データのみで説明をしていましたが、杭の施工状況や地盤の状態をグラフ化し、より解りやすい形でお伝えすることで、説明責任を果たしたいと考えているからです。

計測したデータを現場からモバイルで本社へ送付することで、本社工

理部門にて施工状況をリアルタイムで確認・情報共有することが可能になり、現場が遠隔地であっても変わらない品質管理の下での施工をご提供できます。現場から送られたデータは本社スタッフが即座に整理をし、迅速な施工報告書を作成いたします。これからも私たちは現状に満足することなく、よりご納得いただける基

礎構造をご提供し続けます。
現在の無事故実績、約2,700現場、
約300,000時間。

(株)三誠が行っている安全活動は、単なる形式的な運動ではありません。トップから二方的に安全活動を促すの

ではなく、安全に対する意識の高さが現場で働くスタッフにも徹底して共有されることで、安全が確立されると私たちは考えております。

最近では事業主バトリールとして、弊社の社長、専務、部長がそれぞれのチームを率いて施工現場をバトリールし、点検項目などの結果を施工会社へフィードバックしております。また、現場で働くすべての作業員を1年に数度本社に集め、安全教育や品質の向上を目指す集会を開催するなど、現場で働く人たちの安全意識喚起の活動にも力を入れております。

G-ECSパイル工法が約2,700もの現場で事故ゼロの背景には、これらの安全活動の成果に加え、杭が軽い、施工機械が小さい、現場の残土を最小限に抑えることなど、工法としての優位性があると考えております。

今こそ全社一丸となって、
「良いものを、安く。」

昨今の不況から建築業界は非常に厳しい現実に直面しています。大型物件の動きが鈍く、1件あたりの契約額が約5割下がっているものの、受注件数では対前年比の5割増で推移しています。こういった困難な時代だからこそ、私たちは「いかにローコストで良いサービスをご提供できるか」という原点に立ち戻り、お客様満足度の向上を追求してまいります。



小川専務と佐藤特販部次長

さらに、現在、製品工場のロボット化が進んだことにより品質の均一化が確立され、常に安定した品質の製品をご提供しております。秋田、名古屋、九州には打設機械の拠点が新たに加わり、販売店様も含めた日本各地のネットワークを活かすことで、案件ごとに適した施工機械の選択・編成が可能です。積極的に力を入れているG-ECSパイルの販路拡大にも少しずつ結果が現れ、市場の工事着工件数が激減している中で、例年と変わらない出荷トン数を維持しております。特に、太平洋ベルト地帯に沿って関西地区の案件が着実に増えており、まだまだ伸びる余地があるのではないかと考えております。

(株)三誠は誠心・誠意・誠実をモットーに、全社一丸となって「勝ち残る」という強い信念を持ち、冷える市場に挑戦し続けます。

Topics

トピックス

最新鋭の工場が稼働

製造ラインの見直しを含め検討を重ねていた(株)オトフジ四街道物流センター(協永産業(株))が、旧工場を改築し、G-ECSパイル製造工場として10月27日(火)に稼働開始しました。全ラインの自動化が図られ、月産700〜800トンの製造が可能となりました。

G-ECSパイル施工実例集が改訂

9月1日(水)より、G-ECSパイル施工実例集が大改訂され、特にエコロジ―安全性からの優位性・汎用性が強調されています。施工実例には水上打設、シエルター等の特殊施工実例も追加され、一段と充実した内容となりました。

ベースボールコンテスト開催中

今年度も6月1日(月)〜12月31日(木)まで、G-ECSパイル拡張キャンペーン「ベースボールコンテスト」を実施しております。現在の景気の下でも全販売店様の熾烈な戦いが展開されております。

社員研修・個別面談を実施

4月に一般社員研修、7月には幹部研修を実施し、参加社員から提出された実行計画・レポートを基に会社役員との面談を行いました。熱心な意見も多々あり、業務改善及び、次年度計画に取り入れ役立ててまいります。

G-ECS PILE。さまざまな条件下で、最良のソリューションとして採用されています。

G-ECSパイル

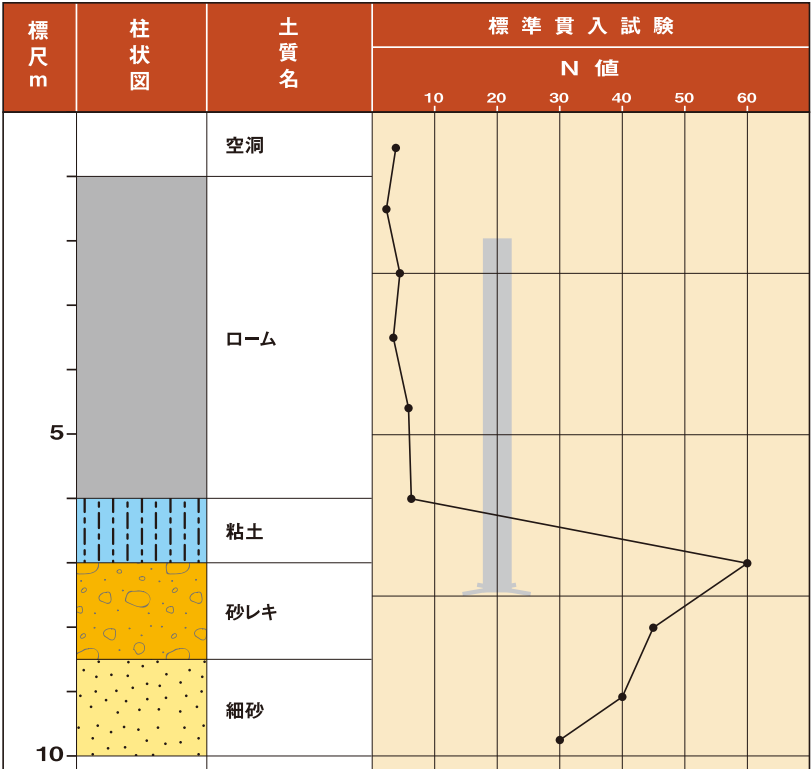
新宿区某共同住宅

厳しい搬入条件でも安全に施工できるG-ECSパイル工法。
住宅地にある本物件は、当初コンクリート杭や現場造成杭が候補となっていたようですが、施工現場が住宅地であり前面道路が狭いので大型車の通行が難しく、施工機械の搬入ができないとの理由で見送られました。BH杭についても、ダンプカーや生コン車の台数が膨大になるため近隣状況を考慮すると不適切であると判断され、トラックなどの搬入台数と小型な施工機械の安全性を評価いただきG-ECSパイル工法が採用されました。

【施工年月日:平成20年4月10日～平成20年5月15日】



ボーリング柱状図



建物概要

名称	新宿区某共同住宅	杭の種類	φ165.2 t=7.1 3m
施工場所	東京都新宿区		φ165.2 t=7.1 4m
用途	共同住宅		φ165.2 t=7.1 6m
構造・階数	RC造地下1階地上5階	本数	685本・35本・60本
設計支持力	133kN	杭先端深度	GL-7.5m
先端N値	20	延床面積	約812.0m ²

株式会社 三誠
SANSEI Inc.

本社 TEL:03-3639-5226 FAX:03-3639-8162
北関東営業所 TEL:048-813-6612 FAX:048-813-6615
ホームページ: <http://www.sansei-inc.co.jp>

G-ECSパイル

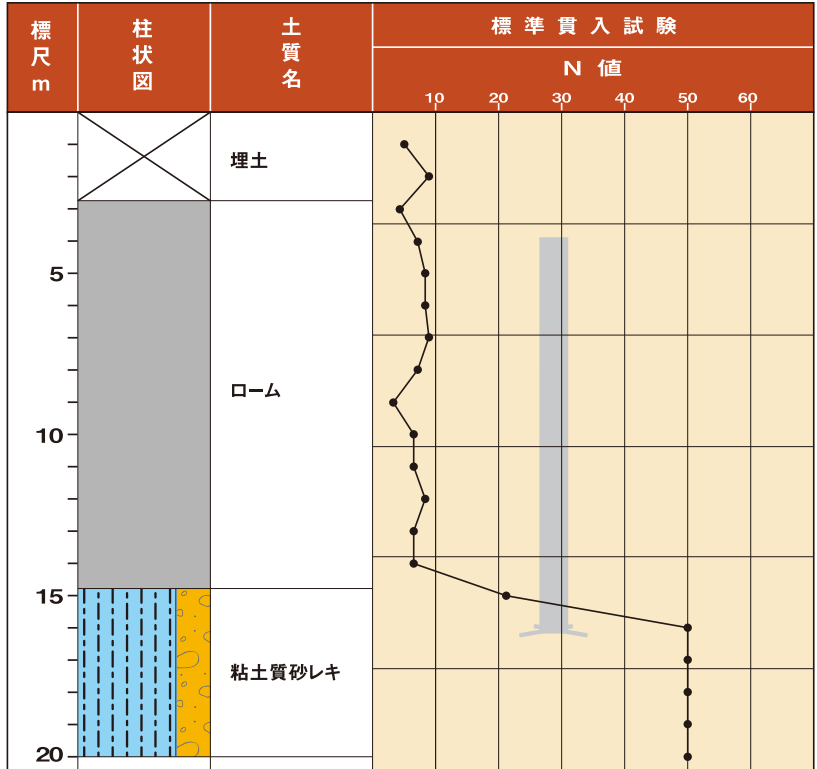
上野原市某工場

地道な営業対応が実を結び、G-ECSパイル工法が採用。
本物件は、もともと他社鋼管杭にて設計されていましたが、構造設計事務所様に対する、弊社の営業と技術が連携した迅速な対応や技術的なサポートを、元請様側にも評価していただきG-ECSパイル工法が採用されました。約6,000m²という広大な敷地での施工にもかかわらず、大小の施工機械を各1台ずつ搬入し、3本継ぎ181セットを10日間で効率的に打設しました。

【施工年月日:平成20年2月5日～平成20年2月18日】



ボーリング柱状図



建物概要

名称	上野原市某工場	杭の種類	φ165.2 t=7.1 15m
施工場所	山梨県上野原市		φ190.7 t=7.0 15m
用途	工場兼事務所棟		φ216.3 t=8.2 15m
構造・階数	S造地上1階		φ267.4 t=9.3 15m
設計支持力	187.02～427.83kN	本数	102本・4本・67本・8本
先端N値	28・35	杭先端深度	GL-16.45m
		延床面積	約6,000m ²

茨城営業所 TEL:0299-36-7170 FAX:0299-48-0025
新潟営業所 TEL:025-242-2180 FAX:025-242-2183
メールアドレス: info@sansei-inc.co.jp

お問い合わせは、メール info@sansei-inc.co.jp
または、FAX 03-3639-8162 (担当 小林) まで。